

令和6年度 男女共同参画に関する市民意識調査

<アンケートご協力のお願い>

日ごろから市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

佐賀市では、男女共同参画社会の実現をめざして取り組みを進めております。

このたび、男女共同参画に関する日常生活の実態や住民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の取り組みに向けた基礎資料とするために調査を実施いたします。

このアンケートは、佐賀市にお住まいの16歳以上の方から無作為に抽出した 2,300人の方にお送りしています。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、結果の概要については、佐賀市ホームページ等にて公表いたします。

令和6年00月
佐賀市長 坂井 英隆

【ご 回 答 期 限】

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和6年00月00日(○)までに投函してください。

早くて便利な、WEB回答フォームからのご回答も受け付けております。

■WEB回答フォーム

URL : <https://questant.jp/q/DAMI>



【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートは、封筒のあて名の方 ご本人が 記入してください。
2. 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる番号に○をつけてください。
3. 回答はすべて任意です。答えられる質問にお答えいただければ結構です。
4. 回答内容はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありません。また、お名前を記入いただく必要もなく、個人が特定されることはありません。
5. アンケートについて、不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

【 問 い 合 わ せ 】

佐賀市 政策推進部 男女共同参画課
TEL 40-7014 / FAX 29-2095
Eメール danjo@city.saga.lg.jp

あなたご自身についておうかがいします

各項目で該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

問1. 年代をお答えください。	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代	5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上	
問2. 性別を教えてください。	1. 女性	2. 男性	3. その他()

問3. 同居している家族構成をお答えください。あてはまる項目すべてに○をつけてください。

いない(一人暮らし)	1
配偶者・パートナー(事実婚等を含む)	2
子ども	3
父母や義父母	4
祖父母や義祖父母	5
兄弟姉妹	6
その他(具体的に:)	7

1. 男女共同参画(※)について

ここからは、男女共同参画についておうかがいします。

※男女共同参画とは、男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うこと。

問4. あなたは、男女共同参画に関する次の用語などを聞いたことがありますか。
(○はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢	言葉も意味(内容)も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	知らない、聞いたことがない
佐賀市男女共同参画を推進する条例		1	2	3
4月14日 パートナーデー		1	2	3
ジェンダー		1	2	3
ワーク・ライフ・バランス		1	2	3
アンコンシャス・バイアス		1	2	3
LGBT		1	2	3

※各用語の詳細は本調査票の最後のページをご参照ください

問5. あなたは男女共同参画に関心がありますか。(○は1つだけ)

とても関心がある	どちらかといえば 関心がある	どちらかといえば 関心がない	全く関心がない
1	2	3	4

問6. あなたのお住まいの地域では、下記の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢					
	優遇されている 女性の方が	優遇されている 女性の方が どちらかといえば	平等	優遇されている 男性の方が どちらかといえば	優遇されている 男性の方が	わからない
家庭生活で	1	2	3	4	5	6
職場で	1	2	3	4	5	6
学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
地域や社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
政治の場で	1	2	3	4	5	6
法律や制度に関して	1	2	3	4	5	6
就職・採用の際に	1	2	3	4	5	6

問7. あなたは、家庭や結婚についてどのように考えていますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○は項目ごとにそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢				
	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない	わから ない
結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
結婚しても、夫婦は別々の姓を名乗ることを選択できる方がよい	1	2	3	4	5
結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	5
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	1	2	3	4	5
女性は結婚によって経済的に安定を得る方がよい	1	2	3	4	5
育児休業や介護休業は女性がとるべきだ	1	2	3	4	5

問8. 続いては、あなたの【身近な方々】に対する考えをおうかがいします。

新 以下の方々の言動や態度のなかに「女性だから、男性だからこうあるべき」という決めつけや、固定的性別役割分担意識(※)を前提とした思い込みを感じますか？(○はそれぞれ1つだけ)

※固定的性別役割分担意識とは、「男は仕事、女は家庭」など、性別によって適した役割や能力、活動する分野があり、それを分担するのが当然とする固定的な意識のこと。

例：男性は仕事をして家計を担い、家事・育児は女性がすべきだ
 組織のリーダーは男性のほうが向いている
 男性は結婚して家庭をもって一人前だ
 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない 等

項目	選択肢	感じる	感じる ど ち ら か と い え ば	感じる ど ち ら か と い え ば	感じない	わからない	対象者が いない
職場の上司		1	2	3	4	5	6
配偶者・パートナー(事実婚を含む)		1	2	3	4	5	6
父母(または義理の父母)		1	2	3	4	5	6
祖父母(または義理の祖父母)		1	2	3	4	5	6

問9. あなたのお住まいの地域では、下記の役割を担うのは、男女でどちらのほうが多いと思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢	女性の方が多い	どちらか と い え ば 女 性 の 方 が 多 い	男女均等	どちらか と い え ば 男 性 の 方 が 多 い	男性の方が多い	わからない
自治会・町内会等の会長職		1	2	3	4	5	6
子ども会、PTA、部活動保護者会等の会長職		1	2	3	4	5	6
消防団員		1	2	3	4	5	6
民生委員・児童委員		1	2	3	4	5	6
体育協会(スポーツ協会)・ スポーツ関係の行事等の責任者等		1	2	3	4	5	6

問10. あなたの地域では防災や災害対応について地域で話し合う際、女性の考え方や意見を取り入れていると思いますか？(○は1つだけ)

新

そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5

(問11 は削除、以降の設問番号は振り替え)

問12. 男女共同参画の実現のために、佐賀市が重点を置いて取り組むべきと思うものほど
新
のようなことですか。(○は3つ以内)

政策決定の場に女性を積極的に登用する	1
民間企業・団体等の管理職などに女性の活用が進むよう啓発する	2
地域や職場において女性のリーダーを育成するための取組を行う	3
学校教育や生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解についての学習を充実する	4
企業・職場におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の支援を進める	5
公的サービス(保育所・放課後児童クラブ・介護施設、保育サービスなど)を充実する	6
男性の家事、育児、介護などへの参加を促進する	7
女性の悩みや人権侵害などに対する相談機能を充実する	8
男女共同参画の視点を取り入れた防災体制をつくる	9
その他(具体的に:)	10

2. 就業について

ここからは、就業状況についておうかがいします。

問13. あなたは現在仕事に就いていますか。あてはまるものどちらかをお選びください。

※この調査での「仕事」とは、市場で労働力を提供して対価を得る「有償労働」のことを指します。

就いている	就いていない
1	2

↓
「1」を選んだ方は、
問14～問16(次のページ)
へお進みください

↓
「2」を選んだ方は、
問17(7ページ)
へお進みください

★以下の問14～問16は、問13で「1. (仕事に)就いている」と回答した方のみお答えください。

問14. あなたは平均すると1週間に何時間働いていますか。2つ以上の仕事に就いている方は、その合計でお答えください。ただし、仕事の休憩時間は除きます。

時間/週

問15. 日数では週に何日働いていますか。(仮に、1日1～2時間でも働いていれば、1日と数えてお答えください。)

日/週

問16. あなたは、今どのような形態で働いていますか。(○は1つだけ)

正規の社員、職員でフルタイム勤務	1
正規の社員、職員で短時間勤務	2
パート、アルバイト	3
派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務	4
派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務	5
会社役員・経営者	6
自営業・家族従業(法人以外)	7
その他(具体的に:)	8



問19(8ページ)へお進みください。

★以下の問17は、問13で【2. (職業に)就いていない】を選んだ方のみお答えください。

問17. あなたの過去の就労経験は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをお選びください。(○はいくつでも)

新

正規の社員、職員	1
非正規雇用労働者(契約社員・職員、嘱託含む)	2
派遣労働者	3
個人事業主、家族従業員	4
就労経験なし	5
その他 (具体的に:)	6

★以下の問18は、問17で【1. 正規の社員、職員】と回答した方のみお答えください。

問18. 最後に正規の社員として勤めた事業所を退職した理由は何ですか。あてはまるものすべてをお選びください。(○はいくつでも)

新

結婚のため	1
職場に結婚・出産退職の慣行があったため	2
出産・育児のため	3
家族介護のため	4
家庭との両立が困難になったため	5
配偶者の転勤のため	6
自分の病気・けがなどのため	7
定年制のため	8
解雇または会社都合による退職	9
仕事内容に不満があったため	10
やりがいや成長実感がなかったため	11
残業が多かったため	12
賃金など待遇に不満があったため	13
職場の人間関係のため	14
その他 (具体的に:)	15
あてはまるものはない	16

 次のページへお進みください。

■続いて、皆さんにおうかがいします。(回答しやすさを考慮し、問21を先に設定)

問21. あなたは「女性が職業をもつこと」について、どう思われますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(○は1つだけ)

※本設問は女性の就業に関する意識を問うもので、「女性は結婚・出産することが当たり前である」という主旨に基づくものではありません。

女性は職業に就かないで、家事に専念するほうがよい	1
結婚や妊娠・出産するまでは、職業に就いているほうがよい	2
出産・育児期間は一時退職し、子どもが成長したら再び職業に就くほうがよい	3
結婚や出産後も産休や育休なども利用しながら、ずっと仕事を続けるほうがよい	4
その他（具体的に： _____ ）	5

新 問19.あなたが理想とする働き方(雇用形態)をお選びください。(○は3つ以内)

正規の社員、職員でフルタイム勤務	1
正規の社員、職員で短時間勤務	2
パート、アルバイト	3
派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務	4
派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務	5
会社役員・経営者	6
自営業・家族従業(法人以外)	7
家事専業	8
その他（具体的に： _____ ）	9

★以下の問20は、問19で【1. 正規の社員、職員でフルタイム勤務】【2. 正規の社員、職員で短時間勤務】と回答した方のみお答えください。

問20. 正規の社員への就労を実現するために必要なことは何だと思えますか。あてはまるものすべてをお選びください。(○はいくつでも)

家事・育児・介護と両立できる働き方ができること	1
体力や体調等に合わせた働き方ができること	2
配偶者・パートナーの理解を得ること	3
配偶者・パートナー以外の家族(親や親族等)の理解を得ること	4
配偶者・パートナー等が家事・育児・介護等を分担してくれること	5
保育・介護サービスが利用できること	6
自身のスキルアップ等	7
就業調整(扶養・税制面での年収や労働時間の調整が可能)ができること	8
その他（具体的に： _____ ）	9

問22. 女性の管理職を増やすために必要なことは何だと思いますか。(○は優先度の高いものから3つ以内)

新

出産後も働き続けることができる環境の整備	1
対外折衝や企画・立案などの多様な職務経験の付与	2
女性のキャリア形成のための研修等の実施	3
残業時間(所定外労働時間)の縮減	4
管理職登用制度の見直し	5
女性のロールモデルの育成・提示	6
女性のモチベーション向上	7
経営者・管理職の意識改革(意識啓発や研修等)	8
家族の理解、協力	9
役員・管理職におけるクォーター制度(※)の導入	10
その他(具体的に:)	11
あてはまるものはない	12
女性の管理職を増やす必要はない	13

※クォーター制度…構成メンバーに占める男女双方が一定の割合以上になることを求める制度

問23. 男女ともに働きがいも、働きやすさも感じられるような社会にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は優先度の高いものから3つ以内)

新

社会全体で「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくす	1
性別に関わらず家庭との両立を可能にする働き方の支援	2
女性が結婚・妊娠・出産後も仕事を続けやすい職場風土づくり	3
賃金や昇進・昇給等の労働条件面での男女格差の是正	4
女性管理職や女性役員の積極的な登用	5
男性が家事・育児・介護等の役割を担えるような風土や意識の醸成	6
セクシュアルハラスメント(※)などを防止するための取組み	7
その他(具体的に:)	8
あてはまるものはない	9

※セクシュアルハラスメント…性的な言動により相手方を不快にさせ、その者の生活環境を害すること。また、性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えること。

3. ワーク・ライフ・バランスや子育て、パートナーシップについて

ここからは、ワーク・ライフ・バランスや子育て等についておうかがいします。

新 問24. あなたは、現在のご自身のワーク・ライフ・バランスの状況に、どの程度満足していますか。

満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば満足していない	満足していない	わからない・その他
1	2	3	4	5

問25. あなたが日常生活の中で、以下の各活動に費やしている時間は、1日に平均してどれくらいですか。

	仕事や学校のある日		仕事や学校のない休みの日	
	時間	分	時間	分
仕事や学校				
家事(炊事、買い物、洗濯、掃除など)				
育児				
介護				

問26. あなたの家庭では、以下の家庭内の仕事を主にどなたが担当していますか。

項目	選択肢						
	主に女性	主に男性	女性と男性が 同じ程度に分担	家族全員	その他	わからない	対象者がいない・ 該当がない
家計を支える(生活費を稼ぐ)	1	2	3	4	5	6	7
食事の支度	1	2	3	4	5	6	7
掃除	1	2	3	4	5	6	7
洗濯	1	2	3	4	5	6	7
育児、子どものしつけ	1	2	3	4	5	6	7
介護	1	2	3	4	5	6	7
自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	6	7
PTA 活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7

問27. 今後、男性が家事育児や介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。(○は優先度の高いものから3つ以内)

夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	1
講習会や研修会などを行い、男性の家事、育児、介護などの技能を高める	2
男性が家事、育児、介護に関心が高めるよう啓発や情報提供を行う	3
男性が家事、育児、介護を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる	4
男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	5
男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	6
子どもの時から家庭で性別に関わらず家事などに参加する意識を持たせるような教育をする	7
社会の中で、男性による家事、育児、介護について理解をすすめる	8
家事などに参加することについて職場における上司や周囲の理解をすすめる	9
その他(具体的に: _____)	10
特に必要なことはない	11

問28. あなたの婚姻状況について教えてください。

結婚している (事実婚等を含む)	結婚したが離別・死別	結婚していない
1	2	3

↓
問29・30(下記)
へお進みください

↓
問32(12ページ)
へお進みください

★次の問29、問30の質問は、問28で【1.結婚している(事実婚等を含む)】を選んだ方のみお答えください。

問29. 家事・育児・介護の分担について、あなたと配偶者(パートナー)間で、これまでに話し合ったことはありますか。

よく話し合ってきた	話し合ったことがある	話し合ったことがない	わからない
1	2	3	4

問30. 共働きですか。(パートや内職を含む)

※ここでの「働いている」とは市場で労働力を提供して対価を得る「有償労働」のことを指します

共に働いている	配偶者・パートナーのみ働いている	共に働いていない
1	2	3

↓
問31へお進みください

↓
「2」「3」を選んだ方は問32へお進みください

★以下の問31は、問30で【1. 共に働いている】を選んだ方のみお答えください。

問31. あなたと配偶者(パートナー)のお互いのキャリアに関する考え方として、あなたの考え
新 に近いものは次のうちどれですか。

※ここでの「キャリア」とは仕事などを通じて得た経歴・経験等を指します

お互い、キャリアアップをめざしていく	1
配偶者(パートナー)のキャリアを優先していく	2
自分のキャリアを優先していく	3
その他 (具体的に:)	4
わからない	5

■ここからは改めて、皆さんにおうかがいします。

問32. あなたは、子どもの育て方についてどのような考えをお持ちですか。下記の項目について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。※子どものいない方も、一般的にどう思われるかお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	選択肢				
	そう思う	そう思う いえば どちらかと	思わない いえばそう どちらかと	思わない そう	わから ない
女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい	1	2	3	4	5
女の子も男の子と同じ程度の学歴を持たせたほうがよい	1	2	3	4	5
女の子も男の子と同じ程度に経済的に自立できるように育てたほうがよい	1	2	3	4	5
男の子も女の子と同じ程度の炊事、掃除、洗濯など、生活していくために必要な技術を身につけるように育てたほうがよい	1	2	3	4	5

新 問33. あなたは現在、介護が必要なご家族がいますか。(○は1つだけ)

主たる介護者として 家族を介護している	主たる介護者ではないが、 介護が必要な家族がいる	介護が必要な家族はいない
1	2	3

↓
「1」「2」を選んだ方は問34(次ページ)
へお進みください

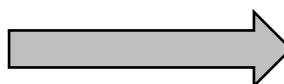
↓
問35(14ページ)
へお進みください

★以下の問34は、問33で【1.主たる介護者として家族を介護している】【2.主たる介護者ではないが、介護が必要な家族がいる】を選んだ方のみお答えください。

問34. ご家族の介護に関する困りごとや悩みはありますか。あてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

新

介護に専念できる人が自分しかおらず負担が大きい	1
介護と仕事との両立が難しい	2
介護と学業との両立が難しい	3
介護と、その他の家族の世話や家事との両立が難しい	4
介護を担うために、自分の仕事や働き方をセーブしなければならない	5
介護施設やサービスを利用したいのに空きがない	6
介護施設やサービスを利用したいが、介護は身内がやるものという前提があり外部サービスの利用ができない	7
職場の上司や同僚に介護に対する理解がない	8
職場において介護休業などの制度が整備されていない	9
その他（具体的に：)	10
あてはまるものはない	11



次のページにお進みください。

4. 人権や性的マイノリティ(※)について

ここからは、人権や性的マイノリティについておうかがいします。

※性的マイノリティ(性的少数者)とは、性のあり方が多数派に属さない人たちの総称

問35. あなたは、この5年以内に、配偶者やパートナー、交際相手から、次のような行為をしたり、されたりしたことがありますか。(○は項目ごとにそれぞれ1つだけ)

項目	選択肢				
	されたことがある	したことがある	どちらもある	どちらもない	対象者がいない
身体的暴行(殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばす等)	1	2	3	4	5
怒鳴る、無視する、脅す、人格を否定するような暴言を吐く等	1	2	3	4	5
危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をする	1	2	3	4	5
交友関係や行き先・携帯・SNSなどを監視したり行動を制限する	1	2	3	4	5
経済的暴力(生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わされる等)	1	2	3	4	5
性的な行為を強要する、避妊に協力しない	1	2	3	4	5
見たくないポルノ映像や雑誌を見せる	1	2	3	4	5

★以下の問36は、問35で1つでも【1.されたことがある】【3.どちらもある】を選んだ方のみお答えください。

問36. あなたはそのような行為を受けたとき、どうしましたか。(○はいくつでも)

我慢した	1
相談した	2
逃げた、または別居した	3
離婚した・交際をやめた	4
その他(具体的に:)	5

★以下の問37は、問36で【2.相談した】を選んだ方のみお答えください。

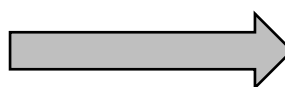
問37. 相談した相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

家族	1
友人・知人	2
配偶者・パートナー・交際相手	3
医師やカウンセラー	4
市役所など公的な相談窓口	5
民間の専門家(弁護士等)や支援グループ	6
警察	7
その他 (具体的に: _____)	8

★以下の問38は、問36で【1.我慢した】を選んだ方のみお答えください。

問38. その理由を教えてください。あてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから	1
子どもへの悪影響を避けたかったから	2
相手(本人や相手の親族)や自分の親族との関係が悪くなると考えたから	3
相談しても無駄だと思ったから	4
相談したことがわかると仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから	5
自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから	6
世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから	7
自分にも悪いところがあると思ったから	8
相談するほどのことではないと思ったから	9
その他 (具体的に: _____)	10



次のページにお進みください。

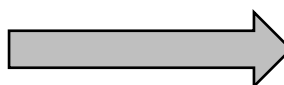
問39. 下記の項目のようなハラスメント行為を、あなたは、この5年以内に職場・学校・地域等でしたり、されたりしたことがありますか。(○はいくつでも)

項目	選択肢	されたことがある	したことがある	見たり聞いたりしたことがある	いずれもない
	男のくせに根性がない」「女は仕事を任せられない」など差別的な言葉を言う	1	2	3	4
	地位や権限を利用して食事に誘ったり、性的関係を迫ったりする	1	2	3	4
	不必要に身体や髪・手などに触る	1	2	3	4
	性的な話や冗談、質問をする	1	2	3	4
	容姿や年齢、身体的特徴について話題にする	1	2	3	4
	妊娠・出産を理由に、職場に居づらくなる扱いをする	1	2	3	4
	育児等のための制度利用や休暇取得に対して非難や嫌がらせをする	1	2	3	4
	「育児は母親の役割」「男なのに育児休業をとればキャリアに傷がつく」等と言う	1	2	3	4
	女性に対して、「〇〇ちゃん」と呼ぶ	1	2	3	4
	「つきあっている男性はいるか」「結婚や出産の予定があるか」等と採用面接で聞かれる	1	2	3	4

問40. 以下の相談(支援)機関のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。(○はいくつでも)

新

佐賀県 DV 総合対策センター [DV、デートDV、家庭環境の破綻]	1
DV 相談+(プラス) [DVの24時間相談、メール相談、チャット相談]	2
佐賀市生活自立支援センター [生活困窮、自立支援など]	3
佐賀市家計見直し相談室 [お金に関する困りごと]	4
フードバンクさが [生活困窮]	5
佐賀市社会福祉協議会 [生活困窮]	6
佐賀市家庭児童相談室 [DV、生活困窮]	7
女性総合相談(アバンセ) [パートナーからの暴力、様々な悩みを抱えた女性の相談]	8
男性総合相談(アバンセ) [様々な悩みを抱えた男性の相談]	9
佐賀市福祉まるごと相談 [一般相談]	10
佐賀いのちの電話 [一般相談]	11
LGBTs に関する相談(アバンセ)	12
性暴力救援センター・さが(さが mirai) [性犯罪、性暴力被害など]	13
佐賀VOISS [犯罪被害者支援]	14



次のページにお進みください。

問41. あなたは、下記のような取り組みについて、どのような考えをお持ちですか。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	選択肢	賛成	いどちらか えば賛成と	いどちらか えば反対と	反対	わからない
制服選択制の導入(※1)		1	2	3	4	5
男女混合名簿の使用(※2)		1	2	3	4	5
ジェンダーフリートイレ(みんなのトイレなど)の増設(※3)		1	2	3	4	5
自認する性に基づく通称名の使用許可		1	2	3	4	5
入学願書や履歴書等の性別欄の廃止		1	2	3	4	5
本人が希望する性を選択できる		1	2	3	4	5
性別適合手術(※4)・ホルモン治療時の就業継続サポート		1	2	3	4	5
同性パートナーがいる人を対象とした休暇制度や福利厚生制度の導入		1	2	3	4	5
同性婚の法制化(※5)		1	2	3	4	5

※1 制服選択制・・・学校の制服として、スカートかズボンか、ブレザーか学生服かなどを、性別にかかわらず、生徒各自が選べるようにすること。

※2 男女混合名簿・・・特に学校において、性別に関係なく、生年月日や五十音順などにより並べた名簿。

※3 ジェンダーフリートイレ・・・女性用トイレ、男性用トイレとは別に性別に関係なく使えるトイレ。

※4 性別適合手術・・・出生時に割り当てられた性別(戸籍上の性別、身体の性別)と本人が自覚する性別(性自認)が一致していない当事者が、外科的手法により身体の形態を望む性別へと変更する手術のこと。

※5 同性婚の法制化・・・女性と女性、男性と男性のカップルが法律上の結婚ができるよう立法すること。なお、同性婚は日本では法的に認められていないが、ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国等では法的に認められている。

<用語解説>

■佐賀市男女共同参画を推進する条例

2007年に佐賀市が男女共同参画社会の実現を目指すことを決意し、市、市民及び事業者等の取組を総合的かつ計画的に推進するために制定した条例。

■4月14日 パートナーデー

佐賀市では、2月14日のバレンタインデー、3月14日のホワイトデーにちなんで、4月14日を“パートナーデー”とし、お互いを大切に思いやり、家族や友人・職場の同僚など、あなたの大切な人に感謝の気持ちを伝える日とし、女性も男性もよきパートナーとしてやさしく認め合い、イキイキと暮らすことのできる社会をめざしている。

■ジェンダー

人間が生まれついてもっている「生物学的性別」とは別に、社会的・文化的に作り上げられた「社会的性別」のことをいう。社会や文化によって作り上げられた『女は女らしく／男は男らしく』とか『女は／男は、このように行動すべき』というような意識や慣習のこと。

■ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態のこと。

■アンコンシャス・バイアス

「無意識の思い込み」と訳され、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」のことを指す。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」とも呼ばれる。

■LGBT

心の性別や、好きになる相手の性別において、社会の多数派と異なるとされる人たちは「性的マイノリティ(性的少数者)」とも称される。LGBTは、その代表的なタイプの人たちで、性的マイノリティ全体の総称としても用いられることがある。

以上で調査は終了です。

お忙しいところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和6年00月00日(○)までに

同封の返信用封筒(切手不要)にて、ご返送をお願いいたします。